

# 秋安居

しゅう あんご

アング【安居】雨期の義。佛道修行の僧侶が、一定の期間、一定の場處で、静かに籠もりて道心を修業することを云ふ。もと、印度では毎年五月より八月までの三ヶ月を雨期と稱し、この期間中は降雨多く、外出不便であるため、一般に安居する風習であるのを、釈尊も採用せられ、弟子たちを一定の所に住さしめて、修道させたのに始まる。爾来、これに習ひ、僧侶は夏季となれば、一所經に集つて經論の研鑽を励むことゝなつた。これを夏安居、夏籠、夏誥とも云ひ、略して夏とも稱する。

真宗辞典より

## ●講師・講題

廣瀬 惺氏

『顯浄土真実行文類』講讀

～御自釈～

## ●難波別院会場

二〇一五年一月十九日（月）

～一月二十日（火）

同朋会館講堂にて

午後四時～午後八時半

（両日とも）

## ●大和大谷別院会場

二〇一五年一月二十一日（水）

大和大谷別院会館 研修室にて

午後一時～午後五時

※受講には事前申込みが必要です。

詳しくは別紙（発信文書）

大阪教発第357号をご覧ください。

お問い合わせは大阪教務所（担当・竹中）

06・6251・4720番まで

現代の危機を親鸞に問う～宗祖の御遠忌を終えて～  
はじまる はじめる とともに生く

主催：大阪教区教化委員会

各 位

教区教化委員長 宮 浦 一 郎

2014年度「秋安居」の開催について（案内）

謹啓 向寒の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は教区教化事業にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さてこのたび、2014年度「秋安居」を下記のとおり開催いたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、お手数ではございますが、受講を希望される方は、下部申込書に必要事項を記入いただき、郵送若しくはファックスにて大阪教務所（FAX06-6251-4796）まで提出ください。

また、準備の都合のため、テキスト『顕浄土真実行文類』の購入を希望される方は申込欄に記入くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 難波別院会場

- (1) 期 間 2015年1月19日（月）から20日（火）まで
- (2) 時 間 午後4時から午後8時30分まで（両日）
- (3) 会 場 同朋会館講堂
- (4) 講 師 廣瀬 惺氏（真宗本廟嗣講）
- (5) 講 題 『顕浄土真実行文類』講讃 一御自釈一

2. 大和大谷別院会場

- (1) 期 間 2015年1月21日（水）
  - (2) 時 間 午後1時から午後5時まで
  - (3) 会 場 大和大谷別院会館 研修室
- 講師・講題とも難波別院会場と同じ

3. 聴講資格 教師資格を有している者。なお、傍聴を希望されるご門徒が居られましたら、教務所（担当・竹中 ☎:06-6251-4720）までお問い合わせください。

4. テキスト 『顕浄土真実行文類』（東本願寺出版部）

5. 募集締切 2015年1月13日（火）

※僧籍を有している者は、間衣・輪袈裟を着用ください。

※なお、この秋安居は教師陞補対象講座となります。

以 上

切り取り線

2014年度「秋安居」申込書

|          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 所属寺院・教会  | 第 組 寺・教会 (23— — )           |
| 氏 名      |                             |
| 聴講する会場   | 難波別院 ・ 大和大谷別院               |
| テキスト購入申込 | 要（事前に教務所で購入される場合も記入ください）・不要 |